

クロアチア月報(2021年5月)

在クロアチア日本国大使館

主な動き

【内政】

●20 県、128 市、428 の町村(municipality)の自治体長、議会議員を選出する統一地方選挙が実施され、与党HDZ(中道右派)が、20 県のうち 15 県の知事選挙、6大都市のうち3大都市の市長選挙で勝利し、プレコビッチ首相(与党HDZ党首)は勝利を宣言した。首都ザグレブ市の市長選挙では、30 日の決選投票で、緑・左派連合を率いるMOZEMOのトマシェビッチ候補が65%の支持を獲得し当選。(5/16、30)

●クロアチア政府は、多目的戦闘機の調達に関し、仏製の中古のダッソー・ラファール12機を€9億9900万で購入すると決定。(5/28)

【外政】

●西バルカンを議題とするEU外務理事会(5/10)を前に、外相がコンボ、モンテネグロを歴訪。(5/6-8)

●楊潔チ・中共中央政治局委員・中央外事工作委員会弁公室主任がクロアチアに来訪。(5/27)

【経済】

●欧州委員会は、春の経済見通しを公表。コロナ流行の状況次第だが、クロアチアの実質 GDP は、2021年に5.0%増、2022年には6.1%増となりコロナ危機前の水準を超えると予測。(5/12)

●ニプロ株式会社の海外子会社が、医療用ガラス容器製造・販売会社であるクロアチア企業 Piramida 社(現ニプロ・ファーマパッケージング・クロアチア社)を完全子会社化。(5/17)

【内政】

5/1 「稲妻作戦」記念行事が行われる

1995年「祖国戦争」中の軍事作戦である「稲妻作戦」を記念する行事が行われ、疫学的措置のため、ミラノビッチ大統領、プレコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長が、それぞれ別の代表団に分かれて献花を行った。

5/2 ボロボ村警察官殺害被害者追悼行事

1991 年同日に国内東部スラボニア地方のボロボ村でセルビア系準軍事組織に12名のクロアチア人警察官が殺害された事件から30周年を記念する追悼行事が行われ、メドベド副首相兼退役軍人相、ボジノビッチ副首相兼内務相、パノジッチ国防相、退役軍人団体代表等が献花式に参加した。

同日、ボロボ村において複数の若者がセルビア系住民に対するヘイトスピーチを行う様子を撮影した動画が、同村の Facebook に投稿される事件が発生。ミラノビッチ大統領及び首相府は、これを非難する旨の声明

を発表。翌日、容疑者が特定され、警察は、これら容疑者を刑事告訴する予定と発表した。

5/5 同性カップルの養子縁組

同性カップルの養子縁組を巡り、社会福祉センターが養親候補として同カップルを拒否したことを受け訴訟を提起していた裁判で、ザグレブ行政裁判所は、同性カップルに養子縁組の権利を与える評決を下した。他方、5/14に、労働・年金制度・家族・社会政策省は上訴を行うことを発表した。なお、同カップルは2020年に里親となる権利を認められている。

5/8 第二次世界大戦戦勝記念日

プレコビッチ首相は、EU社会サミットに参加し、「今日、その残虐行為が欧州を永久に傷つけた第二次世界大戦の終戦の76周年に、私たちは平和、人道主義的価値観、社会正義、そして経済的進歩の欧州を共に構築し続けている」と Twitter に投稿。

5/15 ブライブルグ犠牲者追悼式等の開催

ブライブルグ(1945年にパルチザン部隊により殺害された旧「クロアチア独立国」兵士及び一般市民等を追悼する記念式典が、ザグレブ市内のミロゴイ墓地で開催され、ヤンドロコビッチ議長、グルリッチ＝ラドマン外務欧州相等が参列した。また国内中央部のウドビナでも、犠牲者追悼ミサが行われた。大統領特使のミリエニッチ大統領府長官は、スロベニアのマリボル市近郊のテズノのドブラバ墓地で献花を行った。

5/16 統一地方選挙が実施される

20 県、128 市、428 の町村(municipality)で選挙が実施された。有権者数は、366 万人、候補者数は 38,852 人。投票率は、県、市及び町村議会選挙で 46.73%、県及びザグレブ市首長選挙で 46.77%、市及び町村の首長選挙で 46.83%だった。

首都ザグレブ、14 県、55 市及び 87 の町村の首長選挙において、投票者の過半数を獲得した候補者がおらず、5/30 の決選投票に持ち込まれた。首都ザグレブ市の市長選挙では、緑・左派連合を率いるMOZEMO のトマシェビッチ候補(45%の得票率)が、右派「祖国運動」のシュコロ党首(12%)と決選投票へ。MOZEMOは、ザグレブ市議会選挙でも4割の支持率で第一党となった。

5/28 多目的戦闘機の調達先が決定

クロアチア政府は、多目的戦闘機の調達に関し、仏製の中古のダッソー・ラファール12機を€9億9900万で購入すると決定。入札には、仏(ラファール)の他、米(F16ブロック70)、スウェーデン(GripenC及びD型)、イスラエル(中古のF-16バラク)が参加していた。

5/30 統一地方選挙の首長選挙決選投票

与党HDZ(中道右派)が、20県のうち15県の知事選挙、6大都市のうち3大都市の市長選挙で勝利し、プレンコビッチ首相(与党HDZ党首)が勝利を宣言。首都ザグレブ市の市長選挙では、緑・左派連合を率いるMOZEMOのトマシェビッチ候補が65%の支持を獲得し、右派「祖国運動」のシュコロ党首(34%)を破り当選した。

5/30 建国記念日記念行事が行われる

ザグレブ市内の国立劇場でコンサートが行われ、プレンコビッチ首相、ヤンシャ・スロベニア首相等が出席した。また同日、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ会議議長は、1990年代の「祖国戦争」中に犠牲となったクロアチア兵士を追悼する「祖国の祭壇」(ザグレブ市)に献花した。ミラノビッチ大統領は、1991 年に議会が所謂「独立宣言」を採択した6/25 を「建国記念日」とすべきとの立場であり、記念行事には出席しなかった

5/30 統一地方選挙決選投票が行われる

16 日に行われた統一地方選挙の首長選挙において投票者の過半数を獲得した候補者がいないかった首都ザグレブ、並びに 14 県、55 市及び 87 の町村で決選投票が行われた。与党HDZ(中道右派)が、20 県のうち 15 県の知事選挙、6大都市のうち3大都市の市長選挙で勝利し、プレンコビッチ首相(与党HDZ党首)は勝利を宣言した。なお、決選投票の投票率の全国平均は 29.18%(前回(2017 年)の決選投票の全国平均は 27.45%)。

・県知事選挙結果(候補者の出身政党・政党別連合、全20県)

クロアチア民主同盟(HDZ):13
社会民主党(SDP):2
イストラ民主会議(IDS):1
無所属:4(うち2名はHDZの支持を受けている)

・市長選挙結果(候補者の出身政党・政党別連合、全128市)

HDZ:56
無所属:30
SDP:22
IDS:5
その他:15

・主要都市の市長選挙の決選投票結果

首都ザグレブ市(投票率:45.07%)

(当)トミスラブ・トマシェビッチ(MOZEMO(新)):65.25%
ミロスラブ・シュコロ(祖国運動(新)):34.75%

スプリット市(投票率:43.53%)

(当)イビツァ・ブリャク(Center(新)):56.75%
ビツェ・ミハノビッチ(HDZ(新)):43.25%

リエカ市(投票率:34.16%)

(当)マルコ・フィロビッチ(SDP(新)):54.48%
ダボル・シュティマツ(無所属(新)):45.52%

オシエク市(投票率:29.13%)

(当)イバン・ラディッチ(HDZ(新)):62.69%
ベリスラブ・ムリナレビッチ(無所属(新)):37.31%

ブコバル市(投票率:43.80%)

(当)イバン・ペナバ(無所属(現)):54.35%
ニコラ・マジャル(HDZ(新)):45.65%

・町村長選挙結果(候補者の出身政党・政党別連合、全428自治体)

HDZ:187
無所属:121
SDP:39
人民党(HNS):15
農民党(HSS):13
IDS:13
独立民主セルビア党(SDSS):13
その他:26

(一部市町村では、6/13 に第3回投票が実施される。)

【外政】

5/6 外相がコンボを訪問

グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、コンボを訪問。二国間外相会談後に記者団に対し、クロアチアがコンボに対しコロナウイルス・ワクチン1万回分を寄付すると発表した他、クロアチアがKFORに参加するクロアチア兵を増員することを決定したと述べた。KFORへの増派については、セルビアのプリン内相及びブチッチ大統領が、これを強く批判する発言を行った。

5/6 ブニェブツィを巡り外務欧州相がセルビアに抗議

セルビアのボイボディナ自治州のスポティツァ市議会がブニェブツィ語を公用語として使用することを宣言。これに対し、5/7グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、ブニェブツィは民族的にクロアチアに属し、セルビアはクロアチア人コミュニティを分裂させようと政治的決定を行っているとして、これを非難した。

5/7・8 外相がモンテネグロを訪問

グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、モンテネグロ外相、大統領、首相及び議会議長とそれぞれ会談した他、クロアチア系住民を訪問。外相会談では、両国間境界画定問題、モンテネグロのEU加盟、在モンテネグロ・クロアチア系住民の地位、ボカ海軍のユネスコ無形文化遺産登録(クロアチアは共同登録申請を望んでいた中、モンテネグロが単独で申請した案件)、紛争中の行方不明者問題や旧ユーゴ軍練習艦「ヤドラン」のクロアチ

アへの返還問題について議論された。

5/10 EU外務理事会で西バルカンが議論される

EU外務理事会に出席したグルリッチ＝ラドマン外務欧州相によれば、クロアチア提出のボスニア・ヘルツェゴビナに関するノン・ペーパー(同国の三構成民族の概念の重要性を強調する内容)は各国に好意的に受け止められ、また、理事会会合では多くの外相が、西バルカンにおける国境は変更されるべきではないと述べた。

5/11・12 外相がスペインを訪問

グルリッチ＝ラドマン外務欧州相は、スペインを訪問し、ゴンサレス外相と会談を行い、会談中、クロアチアはEU南部諸国(MED7)への参加に関心を表明。また、同相は、ポロリカシュビリUNWTO事務局長と会談した。

5/16・17 大統領がスロベニアを訪問

ミラノビッチ大統領は、スロベニアを訪問し、ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合に出席した他、スロベニア、北マケドニア及びコンボの大統領と会談した。

5/24・25 首相が特別欧州理事会に出席

ブリュッセルを訪問したプレンコビッチ首相は、特別欧州理事会に出席した他、ミシェル欧州理事会議長及びヨハンソン欧州委員(内務担当)と会談、チェコ、ハンガリー、スロバキア、スロベニア、ポーランド及びオーストリアの首相とそれぞれ会談。

5/25 モンテネグロ保健相が来訪

ボロビニッチ・ボヨビッチ・モンテネグロ保健相がクロアチアに来訪し、クロアチアからのコロナウイルス・ワクチン1万回分の供与に謝意を表明。

5/27 楊潔チ・中共中央政治局委員が来訪

楊潔チ・中共中央政治局委員・中央外事工作委員会弁公室主任は、プレンコビッチ首相、ミラノビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議長と会談を行った。プレンコビッチ首相との会談では、中国からのパンデミック中の医療用保護具の調達、「16+1」の協力枠組等につき議論さ

れた他、同首相は、2022年の両国外交関係樹立30周年を機に、習近平国家主席が来訪し、同年完成予定のペリェシャツ橋を視察することを望む旨述べた。

5/27 台湾・クロアチア・ビジネス会議が開催

クロアチア経済会議所(HGK)、中華民国国際経済合作協会(CIECA)及び台北市進出口商業同業公会(IEAT)の共催により台湾・クロアチア・ビジネス会議がオンライン形式で開催された。

5/29 チェコ外相がクロアチアに来訪

クルハーネク・チェコ外相がクロアチアを訪問し、グルリッチ＝ラドマン外務欧州相及びブルニャツ観光・スポーツ相と会談した。

<日・クロアチア関係>

5/19～23 欧州空手選手権がボレチュ市で開催

エスピノス世界空手連盟会長、ミラノビッチ大統領、ドルジャク観光・スポーツ副大臣等も観戦。嘉治大使は女子組手68キロ級の表彰式でプレゼンターを務めた。

【経済】

5/4 セーニ水力発電所改修へ

クロアチア電力公社(HEP)と大手重電メーカーであるコンチャル社の関連企業は、セーニ水力発電所の設備交換に関する契約に署名。契約金額は HRK3.3 億(約€4387 万)相当。同契約は、発電所を改修しその出力を増加させるプロジェクトの一部。設備交換作業は2022年に開始され、2026年に完了予定。同発電所は、アドリア海北部の町セーニの南7kmに位置し、1965年に操業開始。平均年間出力は970GWhで、クロアチアの水力発電所総出力の20%を占める。

5/6 商法及びクロアチア経済会議所法を改正へ

政府は、日曜及び祝日の労働禁止を導入するとともに、年間合計16日の日曜日における労働を可能とする商法改正案、及びクロアチア経済会議所(HGK)会員の96%の会費を免除し、HGKの従業員数を削減するというHGK改革法案を議会に送付すると発表した。

5/6 HEPは2020年にHRK14.6億の純利益を計上

電力の発電、送配電、販売を担う国営エネルギー企業であるHEPグループは、2020年に昨年よりHRK6000万(約€798万)多いHRK14.6億(約€1.9億)の連結純利益を計上。電力販売量は、2019年比16.8%減の13,904GWh(クロアチア全体の電力需要15,384GWhの90.4%)であった。

5/10 リエカ港埠頭拡張工事及び管理業務の入札

リエカ港湾局は、リエカ港コンテナ・ターミナルの拡張工事及び管理業務(コンセッション契約)の入札に、オランダ企業(APM Terminals BV 社)とクロアチア企業(Enna Logic 社)のコンソーシアム1社のみが応札したと発表。応札者は、数ヶ月以内に契約に署名し、署名後2年半以内に運営を開始する必要がある。

5/12 欧州委員会が春の経済見通しを公表

欧州委員会によると、クロアチアの実質 GDP 成長率は2021年に5.0%増、2022年には6.1%増となりコロナ危機前の水準を超える見込み。ただし、観光シーズンに間に合うようにコロナの流行がどの程度抑制されるかに依存する。一般政府財政赤字の対GDP比は、2020年7.4%、2021年4.6%、2022年3.2%に、一般政府債務の対GDP比は、2020年88.7%、2021年85.6%、2022年82.9%に低下すると予測。

5/12 BAT が加熱式たばこの生産に投資

ブレンコビッチ首相は、イストラ半島カンファナルにあるブリティッシュ・アメリカン・タバコ(BAT)の工場を訪問。BAT は、加熱式たばこの生産に HRK2億(€2659 万)を投資すると発言。、クロアチアからの撤退が報じられていた BAT がカンファナルから撤退せず、投資を継続し、雇用を確保することに、首相は満足の意を表明した。

5/12 3.Maj 造船所で豪華クルーズ船起工式開催

リエカにある3.Maj 造船所にて、約€1.7 億相当の極地用豪華クルーズ船「Eclipse II」の起工式が行われた。同船は、オーストラリアの Scenic グループクロアチア支店 MKM ヨット社が建造し、クロアチアの3.Maj 造船所

が船体の下請けを担っている。同船は、2023 年 6 月までに完成予定。船の長さは 168 メートル、幅は 21.5 メートル、220 人の乗客を収容可能。

5/17 ニプロ海外子会社が Piramida 社を買収

ニプロ株式会社の海外子会社ニプロファーマパッケージングインターナショナル N.V.(本社:ベルギー)は、医療用ガラス容器製造・販売会社である当地企業 Piramida 社(現ニプロ・ファーマパッケージング・クロアチア社)を完全子会社化したことを発表。発表資料によると Piramida 社はグローバル企業や大手ヘルスケア会社を顧客に有し、中央ヨーロッパにおいて医療用ガラス容器(アンプル、バイアル)の製造・販売会社として一定の地位を確立していた。

5/20 政府 2020 年予算執行報告書案を議会提出

報告書案によると、2020 年の国家予算の歳入は HRK1316 億(約€175 億)、歳出は HRK1536 億(約€204 億)であった。歳出は、健康・医療分野、雇用維持支援策、震災復興対策への支出により前年比 9.8%増となった。

5/25 イストラ観光局と済州観光公社が相互協力

イストラ観光局は、韓国済州観光公社との相互交流・協力に関する同意書に署名。イストラ半島と同様に、済州は年間 1500 万人の観光客が訪れる人気の観光地。同意書では、両地域がその経験を共有し、マーケティング戦略、チャーター便の運航及び統計やトレンドに関する情報交換に協力するとしている。

5/28 首相、雇用維持支援策の継続を発表

プレンコビッチ首相は、閣議において、6月もコロナ及び地震の被害を受けた企業に対する雇用維持支援策を継続すると発表。国は、2020 年 3 月から 2021 年 5 月 25 日までに HRK105 億(約€14 億)の雇用維持補助金を確保していた。

5/28 GDP(2021年第1四半期)は前年比0.7%減

2021 年第1四半期のGDPは、前年比 0.7%減、前期比 5.8%増となった。

【新型コロナ】

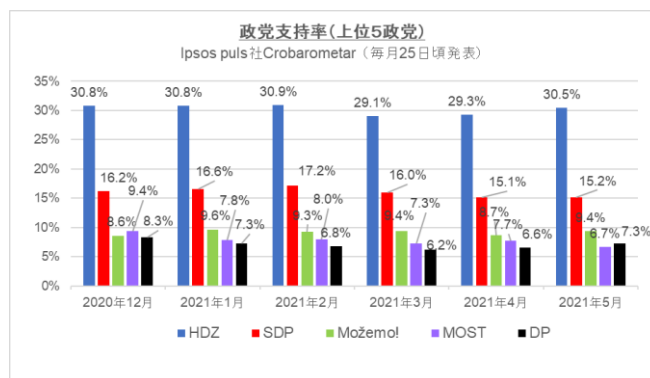
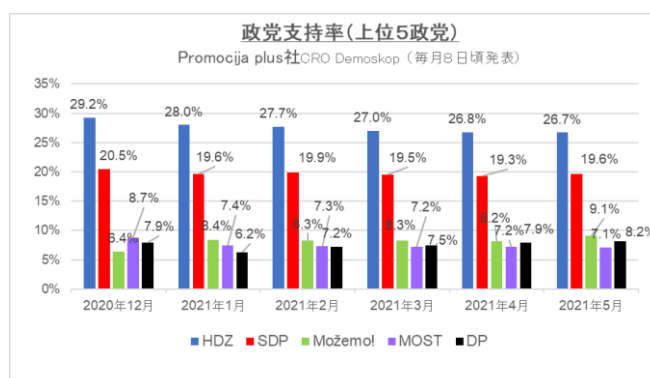
5/14 国内措置・出入国制限措置延長される

15日までとして実施されていた小売店及びショッピングセンターにおける感染防止に関する措置、集会・行事や店舗等の営業に関する措置等の国内措置及び出入国制限措置が、31日まで延長された。

5/27 クロアチア市民保護本部が国内措置を変更

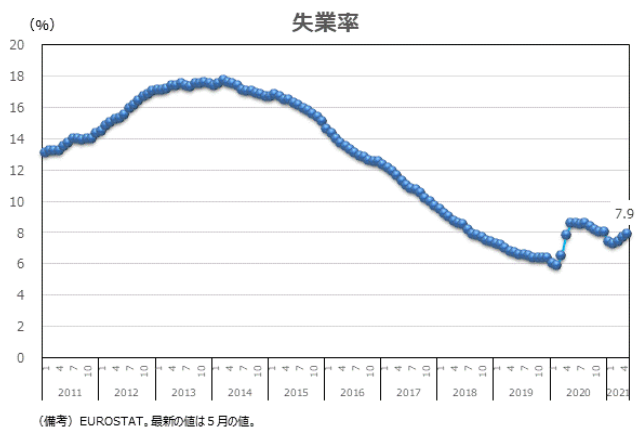
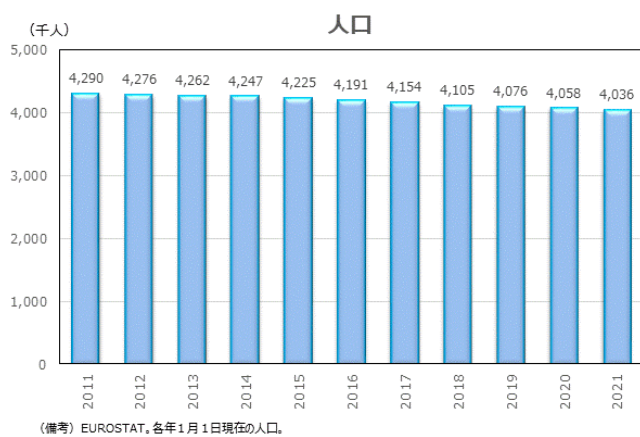
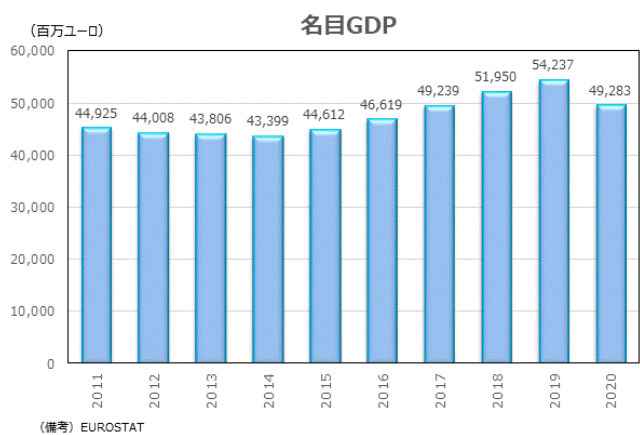
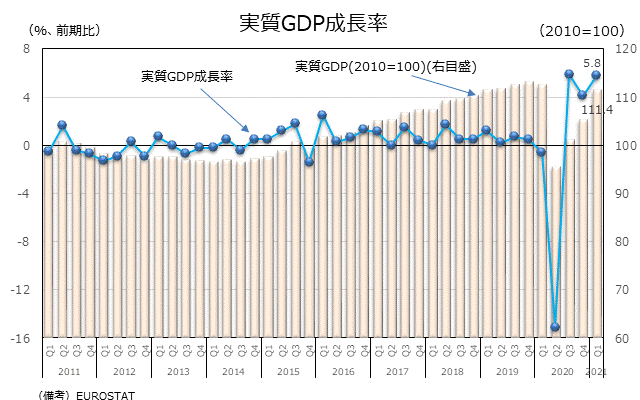
クロアチア市民保護本部は、集会・行事に関する新たな措置を決定。5/28 から、公の行事・集会の開催要件が緩和、私的な集まりに関する制限も解除され、レストラン等における屋内でのサービスが解禁された。本措置は6/15 まで有効。

【政党支持率】

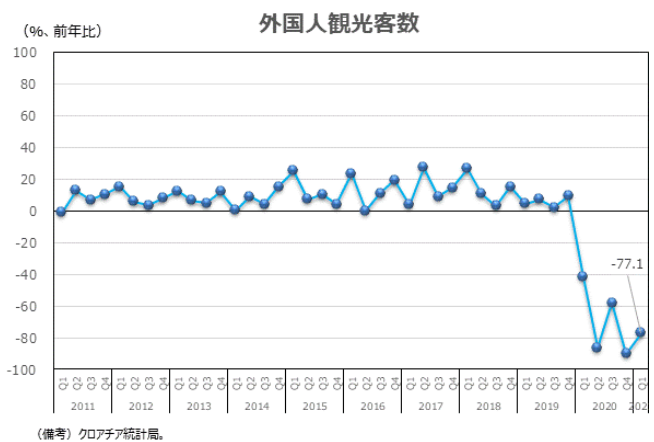
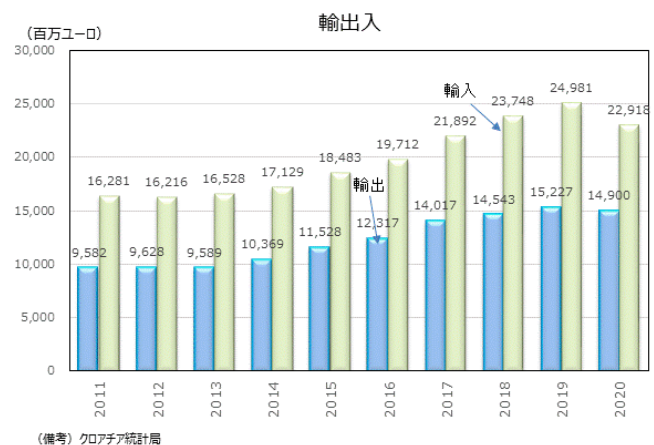
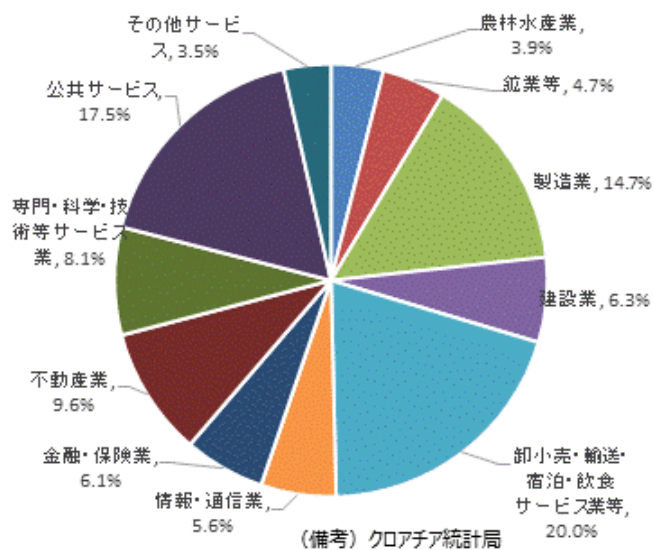


HDZ: クロアチア民主同盟(与党)(中道右派)、SDP: 社会民主党(野党)(中道左派)、MOŽEMO!: 我々ならできる!(野党)(中道左派)、MOST: 独立議員リスト(野党)(右派)、DP: 祖国運動(野党)(右派)

【クロアチア経済指標】



産業別GDP (2020年)



信用格付け (Credit rating of the Republic of Croatia)

Fitch Ratings			Moody's			Standard & Poor's		
Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook
2019.4.2	BBB-	Stable	2020.11.13	Ba1	Stable	2019.3.25	BBB-	Stable
2019.6.10	BBB-	Positive	2019.4.29	Ba2	Positive	2018.9.24	BB+	Positive
2018.7.9	BB+	Positive	2017.3.13	Ba2	Stable	2018.3.26	BB+	Stable
2018.1.15	BB+	Stable	2016.3.14	Ba2	Negative	2017.9.25	BB	Positive
2017.1.30	BB	Stable	2014.3.24	Ba1	Negative	2016.12.19	BB	Stable
2015.8.3	BB	Negative	2013.2.1	Ba1	Stable	2015.7.20	BB	Negative
2014.8.11	BB	Stable	2012.5.31	Baa3	Negative	2014.1.24	BB	Stable
2014.2.14	BB+	Negative	2008.11.19	Baa3	Stable	2013.8.2	BB+	Negative
2013.9.20	BB+	Stable	2007.7.18	Baa3	Positive	2012.12.14	BB+	Stable
2012.11.29	BBB-	Negative	2002.1.14	Baa3	Stable	2010.12.21	BBB-	Negative

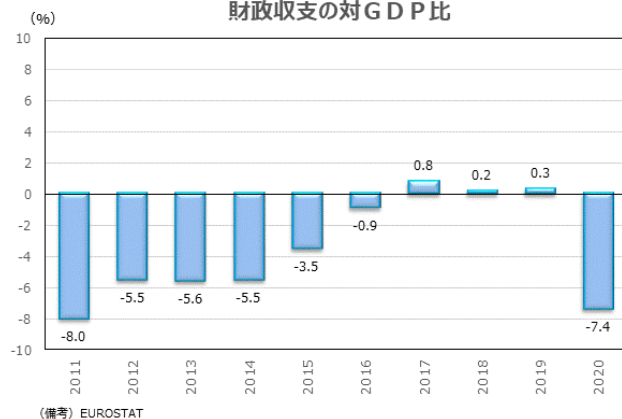
(備考) クロアチア国立銀行。Long Term Issuer Rating for Foreign Currency.

(本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、また、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。)

対内直接投資



財政収支の対GDP比



政府債務残高の対GDP比

